



2010年10月24日

【先週のメッセージより】 第一サムエル16章

神に選ばれたダビデ



1) 人生 MOVE ON

サウルのことを考えて、サムエルは嘆き悲しんでいた。しかし、神は「いつまで悲しんでいるのか」とサムエルを諭す。私たちも過去に犯した失敗や過ちが色々あるかも知れない。人が自分に対してしたことも色々あるだろう。しかし、私たちは過去を変えることはできない。「今」を生き、「今」正しい選択をして将来を正しい方向に導くしかできない。神は私たちに休憩をもくださるが、神が動きなさいと仰った時には行動すべきである。

2) 主は私の心をいつも見られる

主を恐れることこそあらゆる知恵と知識の始めである。ここからズレる時、人は他人をだますようになり、自分自身に対しても偽るようになり(自己欺瞞)、神をもごまかせると思うようになる。神は私たちを好んでスパイしているわけでないことも覚えよう。神は、御自身のみこころを遂行できる「器」を求め、探しておられるのである。ダビデはまさに神の御心のかなう器として、神によって見いだされたのである。

3) 心の内側を整える方法

尊いことをする器になるか、卑しいことに使う器になるか、器である我々が何を選ぶかにかかっている。熱心に神に用いられたいと願い、身を整えて行く時に神に用いられるようになる。逆にサウルのように神の使命を軽く考え、せっかく与えられた「神と人に仕える人生」を無駄にしてしまう可能性もあるので注意したい。

家庭教師である聖霊をつねに意識し、1) 日毎、食するようにと言われている御言葉を食べ、2) 祈り執り成し、3) 御言葉の実践を心掛けることが大事である。優れた教育者である聖霊は、私たちの力に応じて課題を与えられる。敵対して来る人、難しい人、気が合わない人、忍耐を試される人等、課題は様々な「人」であることが多い。その人々を愛し、赦し、悪に報いず親切を返すことができるようになって行く時、真に神に用いられる人として整えられる。ダビデはサウルとの関係でこの先、ますます訓練されていくことになるのである。

私達も同じである。





【今週の暗唱聖句】ピリピ4:13

「私は、私を強くしてくださる方によって、
どんなことでもできるのです。」

●勿論、空を飛ぶとか、いきなり総理大臣とかホームラン王となるなどのことを言っているのではない。信仰は魔術でも呪術でもなく、神をアラジンの魔法のランプから出てくるジーニーのように扱うことはできない。

●これは11-12節も参照してもらいたいが、どんな困難の中にあっても神から力を受けることができ、対応できる、という自信である。

【聖書の「不」徳目リスト】

以下のリストは先週の逆である。私たちは心の奥底に神に反逆する性質を未だに持っている。この罪の身体から自由になるには残念ながら「死」を迎え、新しい身体を与えられる時まで待たなければならない。と、同時に、私たちの内にあるこれらの罪と戦う時に、実は大切なことが起きていることを私たちは認識しよう。つまり、私たちは「愛」の性質を同時に身につけて行っている、ということなのである。罪の本質は神への反逆であり「自己中心」である。一方、聖書で言う「愛」とは自己中心の逆であるから、「自己中心=罪」を選ばないことは「愛すること」を選んでいくことになる。以下が、私たちが戦わなければならない、私たちの内側の罪である。

人の内側から
出て来て人を
汚す物リスト

(主イエスによる)

マルコ 7:20-23

悪い考え

不品行

盗み

殺人

姦淫

貪欲

よこしま

欺き

好色

ねたみ

そしり

高ぶり

愚かさ

やみの業リスト

ローマ 13:13

遊興・酩酊

淫乱・好色

争い・ねたみ

御国を相続でき
ない者リスト

1コリント 6:9-10

不品行な者

偶像礼拝する者

姦淫する者

男娼となる者

男色する者

盗む者

貪欲な者

酒に酔う者

そしる者

略奪する者

肉の行い
リスト

ガラテヤ

5:19-21

不品行

汚れ

好色

偶像礼拝

魔術

敵意

争い

そねみ

憤り

党派心

分裂

党派

ねたみ

酩酊

遊興

終わりの日の人々
の特徴リスト

2テモテ 3:2-5

自分を愛する者

金を愛する者

大言壮語する者

不遜な者

神を汚す者

両親に従わない者

感謝しない者

汚れた者

情け知らずの者

和解しない者

そしる者

節制しない者

粗暴な者

善を好まない者

裏切る者

向こう見ずな者

慢心する者

神より快樂を愛する者

外側だけ敬虔